資料4

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
第２回 介護保険に関する会議

（4）介護人材確保と生産性向上等の取組の基本方針

現状の取組

厚生労働省による
総合的な介護人材確保対策

① 処遇改善	・処遇改善加算取得促進支援 加算未取得や上位加算取得を目指す事業所向けの取得促進セミナー及び個別相談会開催
② 多様な人材の確保･育成	・介護のすそ野拡大推進事業 有償ボランティアマッチングサイト「スケッター」を活用した介護未経験者と事業所のマッチング ・人材育成研修事業 介護人材のスキルアップのための介護サービス従事者研修、認知症介護実践者研修、職場環境改善セミナー
③ 離職防止 定着支援 生産性向上	・先進的介護「北九州モデル」の普及促進 介護テクノロジーを活用した業務改善による生産性の向上 ・先進的介護「北九州モデル」の普及促進 ・在宅版「北九州モデル」の構築 ・介護助手の活用推進 ・ＡＩを活用した問合せシステムの導入 介護保険制度の疑義回答に特化した生成ＡＩを導入
④ 介護職の魅力向上	・「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業 介護職の魅力発信、若手介護人材のコミュニティ形成、ゆめみらいワーク ・介護のしごと出前授業 出前授業で児童生徒に介護職の魅力PR ・求職者向けのDVDセミナー ハローワークと連携して求職者向け情報発信
⑤ 外国人材の受入れ環境	・外国人介護人材育成支援事業 市内介護事業所で就労する外国人介護人材の介護福祉士取得を支援

課題と解決の方向性

【 課　題 】

「北九州モデル」や「介護シェアリング」など、本市独自の先進的な取組を進めてきたが、その成果は一部の事業者にとどまり、特に小規模事業者では人材やノウハウ等の制約からテクノロジー導入や人材確保が十分に進んでいない。

【 解決の方向性 】

・先進的な取組成果を地域全体へ展開

先行事業者にとどまっている成果を、地域の他事業者に広く展開していく。

・モデル施設による地域への還元

令和9年3月、先進的介護「北九州モデル」を体現する「未来型介護モデル施設」がオープン予定。

今後、このモデル施設を中核として、産学官のネットワークも活用しながら、最新介護テクノロジーや新しい介護のあり方の実証・実装を進めるとともに、そこで得られた成果や知見を、地域の介護事業所へ広く還元する仕組みづくりが必要である。

介護人材確保と生産性向上等の取組の基本方針

基本的な考え方

1　現行の多角的な取組の継続実施

介護事業所のニーズや社会動向を踏まえ、必要に応じて事業内容を見直しながら、人材確保や生産性向上に向けた多面的・総合的な取組を継続して実施する。

2　先行事業者やモデル施設の知見やノウハウの地域還元

取組の成果を広く地域の事業所に還元するため、先行事業者やモデル施設が保有する知見やノウハウを、小規模事業者をはじめとする地域の他事業所へ展開する取組を推進する。

協働化の推進

法人の枠を超えて
協働する取組を支援
～ 競争から共創へ ～

モデル施設の活用推進

R9年3月ｵｰﾌﾟﾝ予定の
未来型介護モデル施設
の活用推進

» これまでの取組の成果を広く**地域事業所に還元**

介護保険制度改正の動向について

2.（1） 福祉人材確保と介護現場の生産性向上等の推進

介護の担い手となる世代の人口が減少する中、将来にわたり必要な介護サービスを安心して受けられる体制を整備することが重要な課題となっています。

人材の確保・定着に加え、現場の業務負担を軽減し、働きやすい環境を整える取組を進めること、職員への投資の充実が求められています。また、地域ごとに人材状況や課題が異なることから、**関係者が情報を共有し、協働して解決に取り組む仕組みが必要**です。



見直し内容

① **福祉人材確保のための協議会の設置**

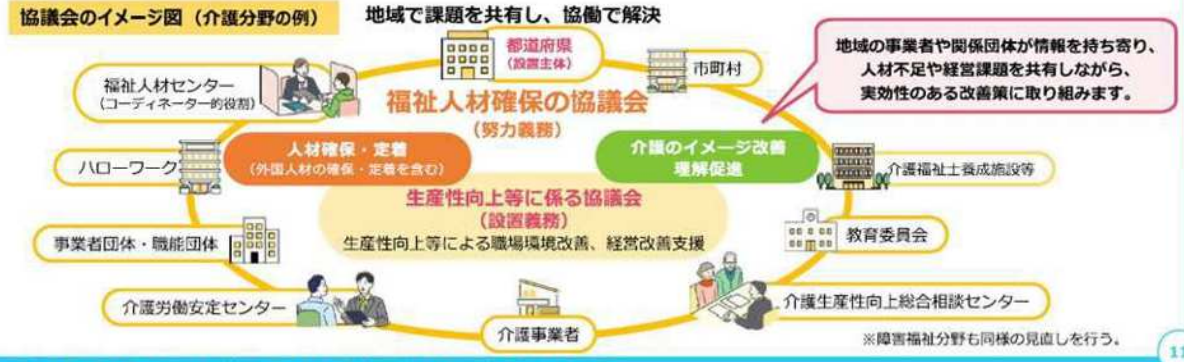
公的機関や地域の事業者、養成施設などが集まり、地域の人材状況や課題を共有し、具体的な確保策を検討・実行する協議会の設置を都道府県の努力義務とします。

② **生産性向上等の取組の促進を図る協議会の設置**（※1）

公的機関や事業者団体などが集まり、介護現場における生産性向上や経営改善に向けた課題（※2）を共有し、その解決に向けた施策を検討する協議会の設置を都道府県の義務とします。

（※1）障害福祉分野も同様の見直しを行う
（※2）見守り機器などの介護テクノロジーの活用、事業所間の協働化など

協議会のイメージ図（介護分野の例）



※障害福祉分野も同様の見直しを行う。

施行日：令和9年4月1日　※障害福祉分野については、法律の公布後3年以内に政令で定める日

11